



## 今月の公開授業

美術&英語 教科横断型授業 実践報告

1年生普通科 芸術科 教諭 伊藤裕貴

英語科 教諭 橋本洋平

日本近代における美術指導者として知られる岡倉天心の「茶の本」を題材として、「季節を感じる日本画を描こう」という美術の授業を英語とのコラボで実施しました。

まずは、タブレットを使って「8分で早読み 岡倉覚三『茶の本』」を視聴しました。



その後、Zoomで美術館学芸員の方から、岡倉天心や茶の本のことに ついて解説をいただきました。

学芸員の方の解説の後に、岡倉天心が芸術鑑賞について記した英文の和訳に挑戦しました。生徒たちは苦戦しながらも和訳を行い、和訳について橋本先生から解説をしていただきました。

原文の和訳については、訳をする人によって解釈やニュアンスが異なることも多く、それらについても実感できたようです。



現代社会 公開授業 「政治的無関心について」

1年生探究進学科・普通科 地歴公民科 教諭 相道 孝志

「政治的無関心」について討論を行いました。一般の人々の「政治的無関心」を伝える新聞記事を読み、「日本の政治のイメージ」や「政治的無関心が起こる原因」について話し合いました。

生徒の大部分が政治に対して関心を持っていないこともあり、自分自身の問題として考えてもらいました。



「日本の政治のイメージ」は、「高齢者の政治家が多い」「難しくて分らない」など否定的なものが多かったです。「政治的無関心」の原因は「政治に魅力がない」「投票しても何も変わらない」などの意見が出ました。政治に関心がないと言ってすませるのではなく、18歳成人を前に主権者として政治を考えるようになってほしいと感じました。



## 第8回 PT会議より

これからの進学型単位制の導入を見据え、教科横断科目として、どのようなものが考えられるか、各教科から意見を出し合いました。

最初に、理科と社会の教科横断で「科学と社会」の授業についての案が出され、年間を通しての授業計画や、対象となる生徒についても提案がありました。その後は、教科横断ができる科目同士が何か、その内容はどのようなものなのか、どのような生徒に対して行うか、など現状も踏まえながらの議論となり、多くの案が出されました。

